

手作りおもちゃ贈る

美深高等養護学校被服デザイン科

町幼児センターへパペットなど

【美深】美深高等養護学校(大泉真哉校長) ーへの手作りおもちゃ被服デザイン科3年生の寄贈が16日、同セン



おもちゃのプレゼントを喜ぶ子供たち

ター内で行われた。

被服デザイン科3年生は授業の一環として毎年、実習の中で製作した手作りおもちゃの寄贈を行っている。今回は2年生の後半ころから企画を考え、新年度が始まって3年生に進級したところから作業を開始した。

今回製作したのはブ

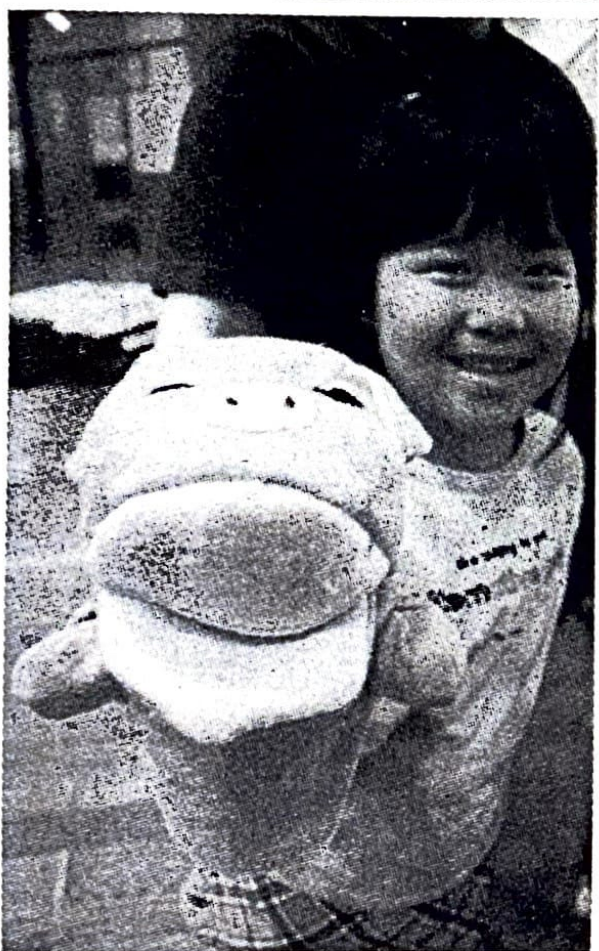
タのハンドパペット(人形)と、付属品としてアイスクリームやバナナ、スイカといった「おやつ」のマスケット。パペットは下から手を入れて指を開閉することで人形の腕や口を自由に動かせるほか、口の中には喉(どの穴が通じていて、おやつを食べさせる遊びもできる、工夫が施された作品となっている。

この日は同科の生徒4人が幼児センターを訪れて、園児たちに人形を手渡した。受け取

った園児たちは可愛らしく面白い人形に、喜び笑顔を見せていた。

制製作と寄贈に参加した同科生徒の福井寿樹弥君は、今回の作品制作について「アイスクリームを作る際に布が巻き込んでしまったり上手く整えるのが難しかった」と振り返り、人形を贈ったあとの園児たちの様子を見て「皆でよく話し合ってた」と話していた。

(安積祥紀)



贈られたブタのパペット